

和らぎ 88

YAWARAGI

2022 NO.85



令和4年3月15日
社会福祉法人 和光会
〒431-1101 浜松市西区和光町517
TEL (053)486-2804
FAX (053)486-0149
<http://www.wakoukai-net.com/>

ミドルリーダー研修を通じて魅力と活気ある組織体制の構築を目指す

コロナ禍により、なかなか進まなかった人材育成の計画。ミドルリーダー層の人材育成を強化してマネジメントスキルの向上と、社会福祉法人和光会（以下「和光会」）の持続的成長を目指すべく、本年度事業計画に「ミドルリーダー研修」を位置づけ実施して参りました。「和光会」は、保育、児童、障がい、高齢者等幅の広いサービスを展開してきた歴史から、それぞれの施設の事業・サービスの独立性は高い反面、事業を横断する横の連携が弱いのが特徴です。このことは、このコロナ禍において危機感として改めて強く気づかされたことでした。

例えば、1施設内で新型コロナウイルスの感染があった場合に、1施設の限られた職員で感染症の対応をしながら通常事業を継続していく事は、極めて困難な状況に陥ることが予測されます。事業継続計画（BCP）の観点からも、法人の在り方が今までの個別的組織の集合体からネットワーク化した集合体へ進化していく事が必要であると感じています。

また、施設間を超えた連携を強化して法人組織としての成長を目指していきたいと考えています。研修会は、集合研修を基本としていますので、浜松市内の新型コロナウイルス感染者数の状況により、予定通りに開催できない事もありました。

参加者は事前に課題が与えられ、当日研修会のグループワークで自分の意見を積極的に発言できるようにしっかりと準備してきます。グループワークでは他施設多職種の参加者と毎回シャッフルされ、違うメンバーと課題についてグループワークします。グループリーダーもランダムに選出されて進行役としてスキルが身につけてきました。研修会は毎回活気に溢れ充実しており、時間も足りないくらいです。年間計画（プログラム）は予定通りに進んではいませんが、以下に、研修の内容について、ミドルリーダーに必要なスキル、年間計画、プログラムの効果、プログラムのゴールを紹介します。



事前課題をグループごとに話し合い



県外の施設はリモート参加

ミドルマネジメントに必要な3つのスキル

(1) 現場のマネジメント力

- ・組織を効率的に、自律的に力を発揮させ成果の最大化を目指す。
- ・組織をチームとして職員一人ひとりの強みを把握し、職員の力が発揮できる体制作り。

(2) より良い職場環境づくり

- ・理念を通じてコミュニケーションを円滑にし、職員間の助け合い風土を醸成する。
- ・組織が掲げる目標を共有し、職員が組織とともに成長できる機会をあたえる。

(3) 部下の育成

- ・職員のスキルアップを支援する。
- ・職員の目標管理と進捗状況に応じた指導力を高める。

Program

年間計画

Contents

プログラム内容

Skill

スキル

4月	理念・ビジョンの浸透、確認	組織
6月	事業報告及び決算書	説明責任
8月	人材育成、採用	人材活用
10月	労務管理、各種規定	コンプライアンス
12月	事業計画及び予算書	目標設定
2月	経営情報の収集と分析・共有・活用	戦略

Effect

プログラムの効果

- ・ 理念の浸透
- ・ 職場満足度
- ・ コンプライアンスの徹底
- ・ 利用者満足度
- ・ 情報マネジメントの有効性
- ・ 提供サービスの向上
- ・ 財務の結果
- ・ 生産性
- ・ 組織的能力の向上
- ・ 効率性

以上の年間計画から、ミドルリーダーにおけるゴールは、「自分らしさ」のリーダーシップ、だと考えています。それは、“自分自身の行動特性を知り、自分自身のリーダースタンスの限界を知り、自分自身のリーダーの強み弱みを知る”ことにあります。リーダーになったからと言っても一人の力は微々たるものであり、チームの力が加わるからこそ、強いリーダーシップの力が発揮されます。リーダー自らが自分の強みと弱みを知る事は、組織の目標に向かうために職員とリーダーの間で効果的に作用します。仕組み作り、連携、コミュニケーション、課題の共有、チームワーク、より良い人間関係を構築する上で。われわれは、一緒に働く仲間を尊重することに重点を置き、“すべての利用者により良い環境と最善の利益を”という「和光会」の理念を実現するために、保育、療育、障がい（児）者支援、高齢者介護のサービスの質の向上と地域福祉の発展に寄与する事を目指していきます。

和光会事務局長 志賀口 裕輔



ミドル研修の様子



なごみ

介護経験通算 20 年！！

一瀬 匡利

Ichise Masatoshi

日本福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科卒業
令和3年6月1日 入職

資格：介護福祉士 介護支援専門員 社会福祉士
趣味：お菓子作り（特にガトーショコラ！） 読書 映画鑑賞



01 働いてみて感じたこと

まず、基本的に職員が同じ方向を見て仕事をしていると感じました。例えば、「〇〇をすればよくなる」というような場面に出くわした時、それによって介助の手が増えることになっても、推し進めていける力を持っている。新しい取り組みに対し、前向きな姿勢を感じられ、それが出来ることが素晴らしいと思いました。

02 働くときの想い

一番は、利用者様に日常生活を楽しんでいただくことです。ポーっと一日を過ごすより、笑顔で生活を送っていただきたいと思っています。コロナ禍で、外に出られない・リフレッシュが出来ない・・・そんな日々を長らく送られてきているので、体操や昔の歌など、少しでも気分転換ができるようなことを取り入れていきたいと思っています。

03 チャレンジしたいこと

コロナ禍なので、状況次第ではありますが、外出支援や気分転換になることができれば良いと思っています。

また、今後の個人の目標としては、深く利用者様をアセスメントしたいと思っています。

その理由は、、、

深くアセスメントする

利用者様をより深く知る事が出来る

その情報やデータを分析していく

チームで情報共有できる

ケアに反映させることができる

と考えるからです。

基本は利用者様と関わりながら、ケアをしていきたいと思っています。機会があれば、介護支援専門員の資格を生かして、所属ユニットのケアマネジャーを担当させて頂き、分析した情報を基に、ケアプランを立案することができればなと思っています。



職員紹介

グループホームあさぎり



白柳登志美

支援員

働きたいと思ったきっかけ

グループホームあさぎりに入職する前は15年ほど高齢者施設で働いていました。その中に障がいのある利用者様もあり、日々の関わりを経て、そのような方々への関わり方や支援の仕方等に興味を持つようになりました。調べてみると、障がいのある方々の日々の生活を支える仕事があると知り、グループホームで働くという決断をしました

働いてみて感じたこと

利用者様たちの共同生活を支える場であり、利用者様同士の関係性や、それぞれが持つ特性や生活歴などを加味した上での支援が求められるため、想像以上に大変だと感じました。しかし、利用者様たちが頑張っている姿や自立しようとされている姿を見て、応援してあげたいと思いますし、**自分も頑張らなければ**と思うことが多いです。

仕事・利用者と向き合うときに大事にしていること

利用者様の障がいの程度に関わらず、その方の良い所を見つけて伸ばしていけるような関わりや環境調整が大切だと考えています。誰にでも長所があり、それをその方の強みと捉えて、どのように自立に近づけていけるかを日々考えながら支援を行っています。

利用者を通じて感じるつながり

開所したばかりの頃と比べると、利用者様との信頼関係がより築けているように感じます。利用者支援という関係ではなく、ひとりの人として利用者様を尊重し、苦楽を共にすることで関係性が築けるということは、年齢や障がいの有無に関わらず変わらないのだということを実感しています。

今後の目標

今後は今以上に「居心地の良い生活の場所」と、グループホームで生活するすべての利用者様に思っただけのように精進していきたいと思っています。また、色々な経験をする機会を設けて「楽しい」「ここが好きだ」と言って貰えるような有意義な場所にしていきたいと思っています。

朝霧フードラボ

働きたいと思ったきっかけ

元々法人内の他施設で働いており、障がい者（成人）の就労に関わる事業所を知ったことがきっかけです。

働いてみて感じたこと

農業という全く経験したことのない分野で働いてみて、非常にたくさんの覚えることがあり驚いています。

仕事・利用者と向き合うときに大事にしていること

「人と関わる」ということを大事にしています。言葉遣いや働く姿勢、ルールについては、しっかりと対応するようにしています。

利用者を通じて感じるつながり

言葉かけの仕方により、利用者の作業に取り組むモチベーションの違いなど、反応が違うため、良い結果につながった時には、心のつながりを感じます。

今後の目標

自分自身の知識を深めること、支援に活かしていくことを目的に介護福祉士の取得を目指しています。



花井理恵

支援員

あさぎり

- ・近隣住民の方より、夜中にずっと電気がついている居室があって困るという申し出がありました。居室のカーテンを閉める等の対策を徹底していきます。
- ・保護者の方より、利用児童のケガに対する職員からの説明が不十分であるとご意見をいただきました。謝罪をし、今後このようなことが起こらないように安全管理を行うこと、万が一事故等が起きた際にはすぐにご報告をする旨を伝え、ご理解をいただいております。

なごみこども園

- ・緊急事態宣言中の行事（幼児親子遠足）中止についてのご意見を頂きました。ご意見を総合的に判断させていただき、幼児親子遠足を実施することにしました。

行事

なごみこども園 3月19日(土) 卒園式

和光こども園 3月26日(土) 卒園式

駒沢わこう保育園 3月26日(土) 卒園式

編集後記

気がつけば2021年もあっという間に過ぎ、2022年となりました。2021年生まれの子どもの名前調査によりますと、男の子では『蓮(れん)』、女の子では『紬(つむぎ)』が名づけで1位となりました。『蓮(れん)』は、蓮が泥の中でも力強く根を張り、連なってたくさんの身をつける植物ということから、コロナ禍が長期化し行動が制限される中、「人を結びつけ、人とつながって困難に打ち克つ子に」。『紬(つむぎ)』は、コロナ禍も影響し、人と人とのつながりや絆を大切にしたいという思いなどから人気が高まったようです。

和らぎ85号では、和光会で働く職員の特集を組みました。2022年もより一層、人とのつながりを大切に、職員同士、協力し合いながら、利用者様に寄り添ったサービスを提供できるよう努めていきたいと思っております。(和光こども園 天野)

幼保連携型認定こども園 / 小規模保育事業

和光こども園
浜松市西区和光町 517 TEL:053-486-0434
なごみこども園
浜松市北区三方原町 1367-1 TEL:053-420-7530
なごみ保育室(小規模)
浜松市北区三方原町 1364-5 TEL:053-525-9666

高齢者福祉事業

特別養護老人ホーム 朝霧の園
浜松市西区庄和町 2476-1 TEL:053-487-2202
地域密着型介護老人福祉施設 なごみ
浜松市北区三方原町 1383-1 TEL:053-420-7533

社会的養護・療育支援

児童養護施設 和光寮
浜松市西区和光町 517 TEL:053-486-0141
地域小規模児童養護施設 早出わこうの家
浜松市中区早出町 1371-5 TEL:053-555-2557
福祉型障害児入所施設 あさぎり
浜松市西区館山寺町 136 TEL:053-487-0229
児童発達支援事業 あさぎり
浜松市西区館山寺町 136 TEL:053-487-6877

障がい者福祉事業

共同生活援助事業 グループホームあさぎり
浜松市西区庄和町 2476-2 TEL:053-487-2122
就労継続支援 A型、B型
就労移行支援 朝霧フードラボ
浜松市西区志都呂 2-12-19 TEL:053-543-4110
相談支援事業所 あさぎり
浜松市西区志都呂 2-12-19 TEL:053-523-7610

認可保育園(東京エリア)

駒沢わこう保育園
世田谷区駒沢 5-2-7 TEL:03-5760-6561
三軒茶屋わこう保育園(分園)
世田谷区三軒茶屋 2-52-13 TEL:03-3410-3715

収益事業

Ncafe
浜松市北区三方原町 1364-5 TEL:053-525-9677
志ノ蔵
浜松市中区千歳町 76-4 TEL:053-454-4096

Make a packed lunch



NCAFE

浜松市北区三方原町 1364-5

053-525-9677

定休日：日曜、祝日（臨時休業あり）

営業時間：11:00～16:00（15:30 L.O.）



Instagram

